

※新型コロナウイルス対策のもとで開催します。中止があり得ます。

- ・定員は40名とし、先着順のもと個人会員と特別会員（1名/社）から受講者を募集します。ただし、特別会員を優先して受け付けます。
- ・越境に関する行政・世論の懸念が深刻の場合、受講者の所在地に制限を設けさせていただくことがあります。
- ・発熱や風邪の症状が認められる場合、参加をご遠慮ください。
- ・マスクを着用し、手洗い、咳エチケットにご留意ください。
- ・入口にアルコール消毒液を準備しますので、ご利用ください。
- ・換気のため、会場の出入口や窓は常時開放します。
- ・後日、会員限定のもと当日のビデオ撮影版を配信します。

※会場がいつもと異なりますのでご注意ください。

令和2年6月19日

各 位

軟弱地盤研究会（第158回）のご案内

軟弱地盤研究会
会長 日野剛徳

日 時：令和2年6月23日（火）14時～16時

場 所：佐賀市文化会館 3F 大会議室（〒849-0923 佐賀市日の出一丁目21-10 電話0952-32-3000）

話 題：近年の豪雨災害と今後に向けた適応策

講演者：佐賀大学教育研究院自然科学域理工学系 准教授 押川 英夫 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

福岡・大分両県に甚大な被害をもたらした「平成29年7月九州北部豪雨」は、朝倉市北小路公民館で9時間に774mmという驚異的な降雨を記録するなど、狭い範囲を襲った記録的な豪雨で、洪水・流木・土砂による三重苦の甚大な複合災害を引き起こした。大肥川流域を対象に災害の特徴と被災状況について調査したところ、上流部で洪水・流木・土砂の3重複合災害、中・下流部で洪水・流木の2重複合災害を示していた。このような複合災害に対しては、組織の壁を超えた連携による既存インフラの有効利用など、社会のレジリエンスを高めるための対応策が急務である。

※参加希望の方は必ず事前にメールまたはFAXでご連絡ください。当日の申込みはできるだけご遠慮ください。

※参加費：当研究会の個人会員および特別会員は参加費無料。それ以外の方は資料代（¥1,000）が必要です。

※参加証明書は研究会終了後に受付にて必要な方に配布します。

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

Tel:0952-26-1668/Fax:0952-26-1669

〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸 3182

（公財）佐賀県建設技術支援機構内